

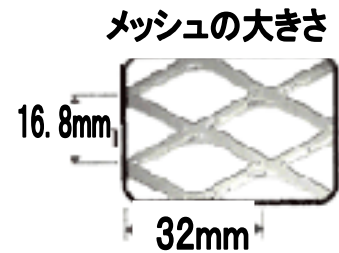
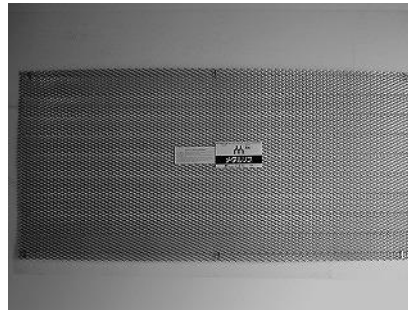
メタルリフI型 施工マニュアル

1. 通気工法の使用部材

材料

1. ラス(一般部)

製品名 メタルリブ I 型
 品番 YMR-1 A
 YMR-1 B



製品規格

寸法: 945mm×1829mm
 リブピッチ: 98.5mm
 リブ山: 6.5mm



単位mm

記号	品番	亜鉛版の厚さ(mm)	リブピッチ	定尺寸法 (mm)			質量 (kg)		1包の枚数
				山高	巾	長さ	枚	m ²	
YMR I 型	1-A	0.60	98.5	6.5	945	1829	0.7	10	
	1-B					1870			

* 材質は、JIS G 3323 亜鉛めっき・アルミニウム・マグネシウム合金めっき鋼板「K12」

2. コーナー補強ラス(出入り隅部に使用)

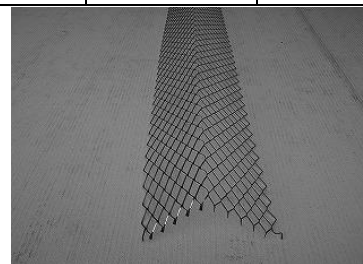
品名	材料の厚さ(mm)	定尺寸法 (mm)		質量 (kg)	1個の枚数
		巾	長さ	枚	
コーナー用ラス	0.6	90×90	1,829	0.3	30

* 材質は JIS G3302 溶融亜鉛メッキ鋼帯製「Z12」

*

3. 止め具

- ステープル止め
 ステンレス製 10幅 脚長19mm



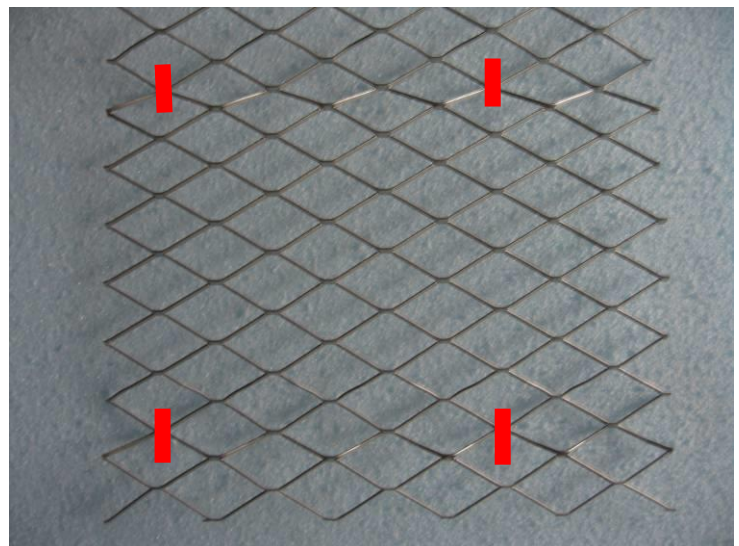
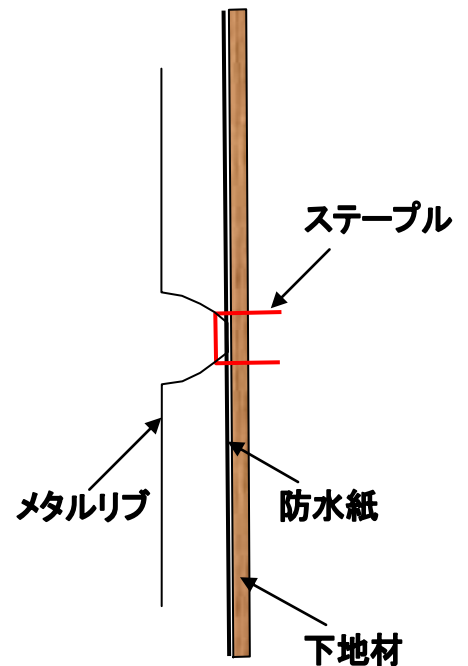
2. 施工方法(ラス張り)

ラス張り

1. ラスの表裏とステーブル位置

ラスは表裏を確認し、リブ凸側を下地材側にしてエアータッカー機にてステーブルで留め付ける。

リブの谷底に浮きの無いように打ち、リブを潰さないように施工する



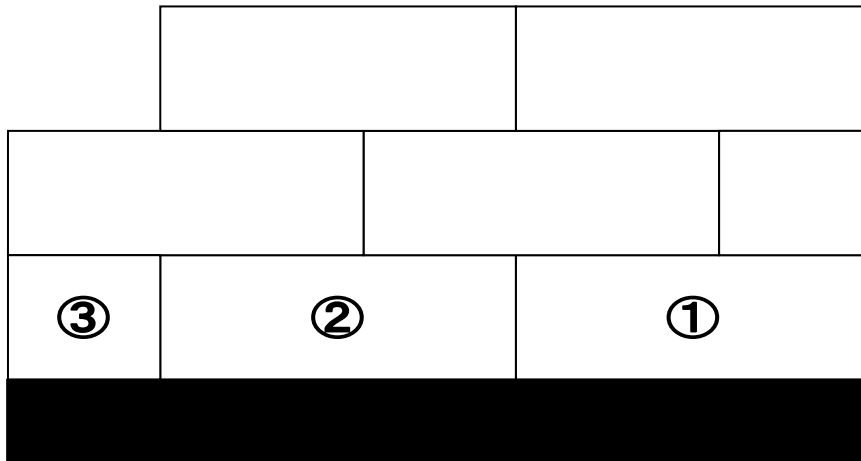
ステーブルの打ちつけ間隔は、リブの間隔で縦横方向とも止める。

施工方法(ラス張り)

2. 一般部のラス張り

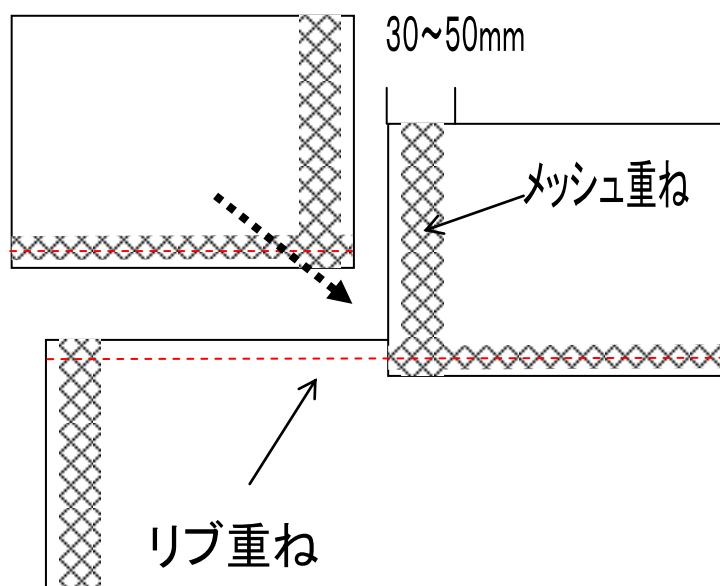
① メタルリブの施工順序

- メタルリブの張り始めは、壁面の右下より水平、垂直を確認し、一枚目を張り始める。
- リブが水平になるように一段目を張る。リブが斜めに傾いたりズレたりしたら張り直す。
- 二段目は、一段目のメタルリブより半分ずらして張り、レンガ積みの方眼で三段目、四段目と重ねて張っていく。
- ジョイント部が、4枚重ねにならないように張る。



② メタルリブジョイント方法

- ジョイント部のリブは、1枚目に仮止めせず、重ねた上からステーブルで固定する。
- 縦方向はリブ重ねとし、メタルリブのたわみが無いよう下から上に伸ばすように張り上げていく。
- 横方向は30~50mmラスを重ね、メタルリブが斜めに傾いたり膨れが無いように張り付ける。
- メッシュジョイント部に膨れのある場合は、ステーブルで浮かし止めし平滑にする。

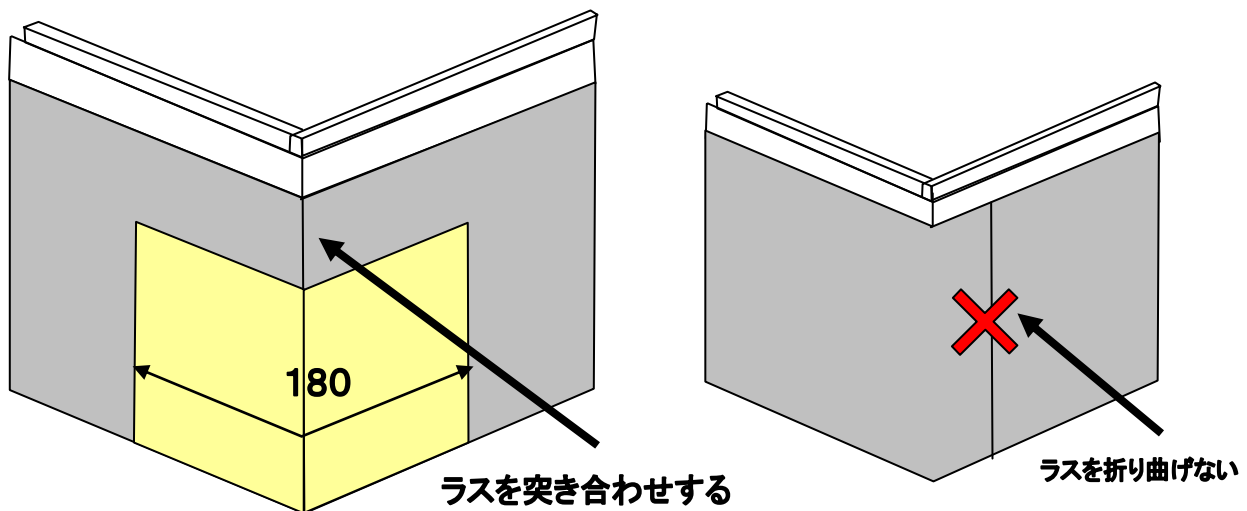


施工方法（ラス張り）

3. 出隅・入隅（コーナー部）のラス張り

コーナー部のメタルリブは、突き合わせて張る。（ラスを曲げて張らない）

- 突き合わせたコーナー部の上から、コーナー用ラスで補強する。
- コーナー部補強ラスの止め付けは、縦・横70～75mmピッチに補強用ステーブル（PJ1019）にて固定する。



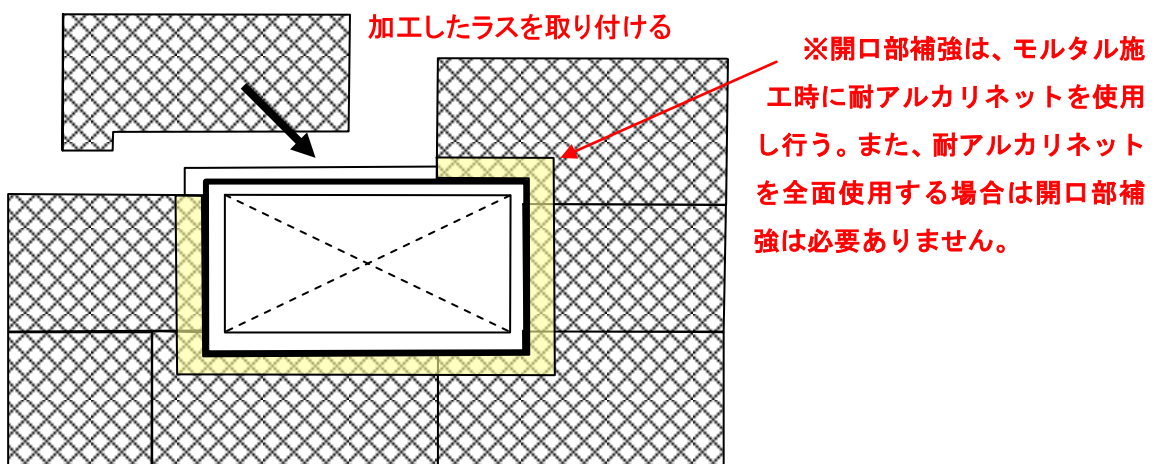
突き合わせになるコーナー部のラスの端部が、凸凹にならない様注意する。

4. 窓廻りのラス張り

窓廻りでの3枚重ねジョイントは行わない。

開口部の隅角部でのジョイントは行わず、ラスを加工して張り付ける。

- 窓の両側は、リブを際に出るだけ近づけて、膨れの無いように張る。
- 窓の上下部のリブを切り落とす場合は、メッシュ部を変形させないよう窓際に出るだけ近づけて張り、空き・膨れの無いようにテーブルで止め付ける。



チェック事項
メタルリブ I 型 施工チェック事項 (参考)
施工前の確認

下地胴縁の確認	①	ラス下地板 (合板) は平滑で適切か?	
	②	出隅・入隅部の胴縁は直角になっているか?	
	③	窓廻りの防水は適切か?	
	④	防水紙の納まりは適切か?	
	⑤	合板の場合ステーブルの保持力が確保出来る下地材か?	
指定材料の 工具の確認	① ラス	メタルリブ I 型	
		コーナー用ラス	
	② 止め 具	ステーブルステンレス製 PJ1019	
		エアーカーター機 コンプレッサー空気圧 6~8 kgf/Cm ²	
③ ③	ラス欠又は金切欠		
ラスの確認	①	ラスは指定の材料か?	
	②	ラスに変型は無いかな?	

施工中の確認

	①	ジョイント部のリブが、ズレたり跳ねたりしていないか?	
	②	窓廻りの部のラス(特にリブ)が固定されているか?	
	③	窓廻りの部のラスが跳ね上がっていないか?	
	④	窓廻り、出隅、入隅各部の補強が適切に固定されているか?	
	⑤	ステーブルの打ち方が間違っていないか?	

施工後の確認

ラス貼り全体	①	ラスが水平に張れているか?	
	②	ステーブルの打ち漏れが無いかな?	
	③	コーナー部に腫れが無いかな?	
	④	補強ラスが確実に施工されているか?	
	⑤	壁面全体に膨れやへこみが無いかな?	

対処

- ジョイント部のリブがズレたり跳ねたりしている場合は、施工をやり直す。
- 窓廻り及び開口補強が腫れたり跳ねたりしている場合は、施工をやり直す。